



NOBORIBETSU

本格的な夏の訪れを告げる第9回のぼりべつ提燈まつりが、7月19・20日の両日、富士橋、銀座通り、JR幌別駅前を会場に行われました。

駅前の露店や「鬼サミット・登別」に協賛した仮装コンクール、幻想的な光で来馬川を演出する「蛍川」など多彩な催しが繰り広げられ、夜遅くまで多くの市民でにぎわっていました。

広報
のぼりべつ

'91.8.1
No.490

■人口/56,570 ■世帯/19,894 (前月比=人口+32・世帯+33) 平成3年6月末現在

①

8月の土曜閉庁(休み)は10日と24日です

明るい 社会を作ろう

スクラム・グループ

社会を明るくする運動
街頭パレード



青少年の健全育成と明るく住み良い社会を作ろうと、第41回社会を明るくする運動街頭啓発パレードが7月11日、幌別小学校から登別市民会館までの間で行われました。

幌別小学校での開会式では、同運動実施委員長である上野市長のあいさつ、

続いて辰巳理室蘭警察署次長、中牧昇登別市交通安全協会会長があいさつしたあと、市内小、中学校の代表4名がそれぞれ誓いのことばを述べました。

引き続き道警音楽隊・カラーガード隊を先頭に、85団体、約1600名の参加者はパレードに出発し、沿道の市民に

社明運動のチラシや風船を配りながら、運動への理解と協力を呼びかけました。

パレード終了後、市民会館で青少年非行防止の集いが開かれ、社明運動標語募集優秀作品の表彰式や幌別中学校ブラスバンドと道警音楽隊の合同演奏会などが行われ、参加者は「明るい地域社会づくり」を誓いました。

鬼も登場 交通安全啓発

観光シーズン本番を迎えた7月2日、旅行者でにぎわう登別温泉で「事故に気を付け、楽しい旅の思い出を」と、市民250名が参加し、交通安全啓発パレードが行われました。

この啓発事業は国から指定を受けた交通安全教育推進事業の一環として、市、市交通安全協会、市交通安全教育推進委員会が主催しました。

地元の児童・生徒や町内会、事業所などからの参加者は、温泉小学校鬼っ

子マーチングバンドの演奏に乗って温泉街をパレードしたあと、全員が沿道で旗を振り道行く車に無事故を訴えました。



市長室フリータイムを実施します

市は、市民の皆さんが市長と自由に語り合える機会を広げようとの考えから「市長室フリータイム」を設けています。

日頃、市長と会って話したいと考え

ている方は、この機会をご利用ください。

なお、来庁される方の待ち時間を少なくするため、あらかじめ電話で予約を受け付けます。総務課 ☎65113

0)までお申し込みください。(また、申し込みの受け付けは、先着6組程度を予定しています)

▷開催日時 8月21日(水)午前9時30分から午前11時30分まで

わだいな

楽しかった 夏期宿泊訓練



7月17日から虎杖浜の観音寺で、登別市内小学校5校の特殊学級へ通う児童19名が1泊2日の合同宿泊訓練を行いました。

残念ながら2日間共お天気に恵まれず、楽しみにしていたニジマス釣りや花火、スイカ割りなど予定していた遊びはできなかったものの、今年最後となる6年生だけは「思い出づくりに」とニジマス釣りに挑戦。大きなニジマスを釣り上げ「やった、やった」と大喜びでした。

このほかに、お世話になる観音寺の住職内田さんへは手作りの記念品をプ

レゼントしたり、自己紹介を兼ねた発表会や思い出を伝えるための手紙書きなどを行い、互いに交流を深めていました。最終日は温水プールでの水泳に歓声をあげていました。

この訓練は、登別市特殊教育振興協議会が日常生活の基本を身に付けさせ社会で自立できるようにと年2回実施しており、今年秋にもう一回行う予定です。

花いっぱい運動 スタート



7月1日からスタートした「花いっぱい運動」は、市民憲章の一節「緑と空と太陽のいっぱいあるきれいなまちをつくりましょう」の精神を具体化

しようと、10月末まで行われます。

市民憲章推進協議会が主催の同運動は、7月3日のプランター作りから始まり、同協議会に参加する老人クラブや婦人団体、町内会の会員約30名が早速サルビア、ペゴニア、マリーゴールド計2300株をプランターに植え替えました。

プランターは市役所庁舎と各支所、市民会館などに置かれ、赤や黄色のきれいな花が10月下旬まで行き交う市民の目をなごませます。

胆振中部に 大雨洪水警報発令!!

「胆振中部に大雨洪水警報が発令され、一部地域に災害が発生した」という想定で7月10日、登別東町4丁目で登別市防災総合訓練が実施されました。

登別市防災会議が2年に1度実施するこの訓練は、市防災計画に基づき住民への周知から避難誘導、ガス・水道や電話回線の復旧、負傷者の介護など16項目にわたり繰り広げられました。

この日参加したのは市をはじめ胆振

支庁、室蘭警察署、市消防本部、北電、NTTなど18団体約380名です。

先の訓練のほか、日赤奉仕団や自衛隊による食料の炊き出しが行われ、実際に乗用車を燃やしての消火訓練終了後、対策本部長の上野市長が「各訓練とも緊迫した中迅速、的確に行われ、目的が達成された。今後の防災対策に生かして欲しい。」と講評し訓練を締めくくりました。





館を会場に開催します。

「鬼サミット・登別」は、昨年の市制施行二十周年記念事業の一環として初めて行われ、今年で二回目を迎えることになり、第二十八回登別温泉地獄まつりのメインイベントとして企画されました。

登別温泉のシンボルである地獄谷を舞台に、全国の諸々の鬼に関するものを集約し、情報・文化まちおこし・芸能・物産・遊び（まつり）の五つの部門で構成される催しを通して交流を深め、楽しみながら鬼とは何かを考え、新たな観光振興、まちづくりの気運を全市的に盛り上げ、地域の活性化に結びつけようとするものです。

実施にあたるのは、観光関連団体や民間団体、市など三十の団体で組織する「鬼サミット・登別実行委員会」で登別温泉街と市民会

から二十八年前の第一回登別温泉地獄まつりの時にさかのぼります。それまで登別に鬼に関する伝説やいわれがあった訳ではありませんが、登別について書かれた古文書などに「地獄谷」や「三途の川」の記述があったことから鬼のイメージが発想されました。それ以来鬼は地獄まつりのシンボルとなり重要なキャラクターとして愛され、受け継がれてきました。

鬼は、日本人の長い歴史の中でうとまれたり、恐れられたり、時には同情されながら人人の心の中で生き続けてきました。「鬼サミット・登別」は、そんな鬼をテーマに日本文化を見直すことにもなり、二十一世紀に向けたまちづく

りの動機にもつながると考えています。

「鬼サミット・登別」は全体を五つの企画で構成しています。内容は、全国百五十余りの市町村から

年間四百万人の観光客が訪れる全国屈指の温泉郷「のぼりべつ」を舞台に八月二十三日から二十五日までの三日間「鬼サミット・登別」が開かれます。今年二回目を迎えるこの催しは、テーマ性に基づいた「二十一世紀のまちづくり」を基本テーマとして全国各地に伝わる鬼伝説や鬼芸能を一同に集め、多彩な催しを通して鬼とは何かを考え、合わせて新たな観光振興、まちづくりの気運を全市民によって盛り上げることをねらいとしています。

鬼に関する情報を集めた小冊子「スタイルの鬼マップ」を発行したりする「情報編」。本市を含め全国の鬼にまつわる自治体の職員やまちおこしに取り組んでいる青年層による鬼サミットや文化講演会、パネルディスカッションを行う「文

化・まちおこし編」。各地の鬼に関する民族芸能披露などを行う「鬼芸能編」。市民の皆さんが参加して楽しむ「鬼遊び・まつり編」。「鬼物産編」では、全国各地の民芸品や酒類の展示販売が行われるなど多彩な催しが予定されています。

鬼サミット・登別

オニさんごちら！地獄谷



鬼文化講演会

- テーマ 「心の中に住む鬼」
- 会場 登別市民会館
- スケジュール
 - 8月25日(日)
 - 14:30~14:40 開会
 - 14:40~15:30 基調講演
 - 講師 山本コウタロー
- 入場料 無料

全国鬼物産展

- 第1会場 登別温泉街極楽通り (玉川分店)
- 日時
 - 8月23日(金) 15:00~21:00
 - 24日(土) 10:00~21:00
 - 25日(日) 10:00~21:00
- 販売品目
 - 酒類 20種
 - 民芸品(全国) 50種
 - 民芸品(地元) 50種
- 第2会場 登別市民会館
- 日時
 - 8月24日(土) 12:00~20:00
 - 25日(日) 12:00~16:00
- 販売品目
 - 酒類 20種
 - 民芸品(全国) 50種
 - 民芸品(地元) 50種

子供劇場

- テーマ 「ベッカンコおに」
- 会場 登別市民会館
- 日時 8月25日(日) 12:00~14:00

鬼まつり(第28回登別地獄まつり)

8月23日(金)

- 18:30~19:00 鬼みこし登場、入魂式
- 19:10~19:15 極楽通りテープカット
- 19:15~19:50 オープニングパレード
- 19:20~19:50 鬼みこし暴れ練りこみ
- 20:00~20:20 前触れ百太鼓
- 20:30~21:30 鬼踊り大群舞

8月24日(土)

- 18:30~19:00 まえぶれパレード
- 19:00~19:40 地獄まつり大パレード
- 19:10~19:50 鬼みこし暴れ練りこみ
- 20:00~20:20 前触れ百太鼓
- 20:30~21:30 鬼踊り大群舞

8月25日(日)

- 11:45~12:35 地獄まつり大パレード
- 11:55~12:45 鬼みこし暴れ練りこみ
- 18:30~19:00 前触れパレード
- 19:00~19:40 地獄まつり大パレード
- 19:10~19:50 鬼みこし暴れ練りこみ
- 20:00~20:20 前触れ百太鼓
- 20:30~21:20 鬼踊り大群舞
- 21:30~21:50 鬼みこし退場昇天式

平成4年度

登別市職員を募集

21世紀に向かって発展を続ける登別市は、平成4年度採用の職員を募集します。

○募集職種

- ▷行政 大卒・短大卒・高卒…6名以内
- ▷土木 大卒・短大卒・高卒…4名以内
- ▷保母 短大卒…1名
- ▷消防 高校卒…3名以内

○受験資格

- ▷大卒 大学卒業者(卒業見込)で昭和36年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた方
- ▷短大卒 短期大学及び同程度の専門学校卒業者(卒業見込)で昭和41年4月2日から昭和47年4月1日ま

で生まれた方

- ▷保母 保母資格を有する方、又は平成3年度中に保母資格を取得見込みの方
- ▷高校卒 高等学校卒業者(卒業見込)で昭和43年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた方
- ▷消防 高等学校卒業者(卒業見込)で昭和40年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた方で市内に居住可能な方

- 受け付け 8月12日(月)から8月23日(金)まで(平日は午前9時から午後5時30分まで、土曜日は午前9時から正午まで)

- 試験日時 9月22日(日)午前10時から(2次試験は10月下旬予定)

- 試験会場 登別市鉄南ふれあいセンター

- 問い合わせ・受験申し込み書の請求 登別市役所総務部職員課職員係(〒059 登別市中央町6-11 ☎0113-2内線326・327)

※申し込み書を郵便で請求する場合は、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、返信用封筒を同封してください。返信用封筒には、あて先を記入し62円切手を張ってください。

まちづくりの

ためのお伝いを：

イベント・スポーツ・クラブ



昭和五十五年から登別・室蘭・伊達三市による青年国内派遣研修が開始されました。この企画は、十八歳から三十歳までの青年男女が青年活動の先進地を視察し、交流を深め、その活動内容や実績を学び今後のまちづくり（活性化）に役立てようとするものです。

各市から五名が参加し、これまでに五十名以上の青年が全国各地を訪れ、地元の青年たちと交流を深め、彼らの情熱・夢・希望に満ちた活動内容に感銘を受け、全員が熱い希望を胸いっぱいにくらませて帰りました。

いままで参加した青年たちは、これまで微力ながら行政のお手伝いを行ってきましたが、熱い思いとは裏腹にその活動は停滞してしまいました。

そこで平成元年二月、第九回国

内青年派遣団のメンバーが発起人となり、ただ市の援助で先進地を視察させてもらうだけでなく、各地で研修してきた事を生かしてふるさと登別のために何かしようというところから「イベント・スポーツクラブ」を発足させました。

まず、いままでの研修に参加した団員たちにも協力してもらおうと考え、第八回までに参加した四十名に発足会議に出席してもらいたいと声をかけてみました。出席したのはわずか五名でした。予想を大幅に下回った人数でしたが、それ以上にショックだったことは私たちの考えや目的が「単なる理想に過ぎない」と言う意見の厳しさでした。私たちはこのとき、この会を運営していくことの難しさを思い知らされました。しかし、これでくじけてしまつては私たち

の登別は何も変わりません。何をどうしたら良いのかまったく分かりませんが、そういう時だからこそ自分たちの手で自分たちを磨き上げる必要があります、とにかく何かを始めなければ、そんな気持ちで自主的に活動を始めました。

まず始めに登別市で毎年行っている成人式に目を向けました。新たに成人となった若い人の洋装とした前途を祝し、大いなる希望や可能性を秘めた社会の一員として私たちの行動から何かを感じてもらいたい、又、私たちのことを知り理解して頂きたい、そしてこれからの仲間として共に活動ができたら、という思いでお手伝いを始めました。

成人式のお手伝いは、今年で二年目になります。初めは祝電披露や受け付けなどの本当にささやか

①マイカージョギングには、約70名が参加しました。

気分を盛り上げます。





① 今年の成人式では多彩な催しを行い、新成人と楽しく交流をしました。



②



なお手伝いでスタートしましたが、今年からは私たちが発案したイベントを中ホールでさせてもらい、今までにないほど盛りだくさんの催しで楽しい成人式になると同時に、多くの新成人たちとのコミュニケーションを図ることができました。

昨年行われた市民オリエンピックでは、子供から大人まで一堂に会し、お互いの親ほくを園ると共に健康で明るく豊かな生活を送ることを願ってお手伝いをさせてもらいました。

また、今年の五月二十六日にイベント・スポーツクラブ初の主催による「マイカー・ラジオキョウグクのほりべつ」を開催しました。

参加者一人ひとりが郷土の素晴らしさを再発見し併せて安全運転を心掛けることを目的として行われたものです。当日は、愛車二十五台にナビゲーターを乗せて約七十名が参加しました。コースの途中にあるチェックポイントには登別にちなんだクイズがあるというユニークなイベントでした。近隣地域の青年団体と交流する機会を得られ、お互いの活動報告や情報交換をすることができ、イベント・スポーツクラブの今後の活動に大いに役立つものとなりました。

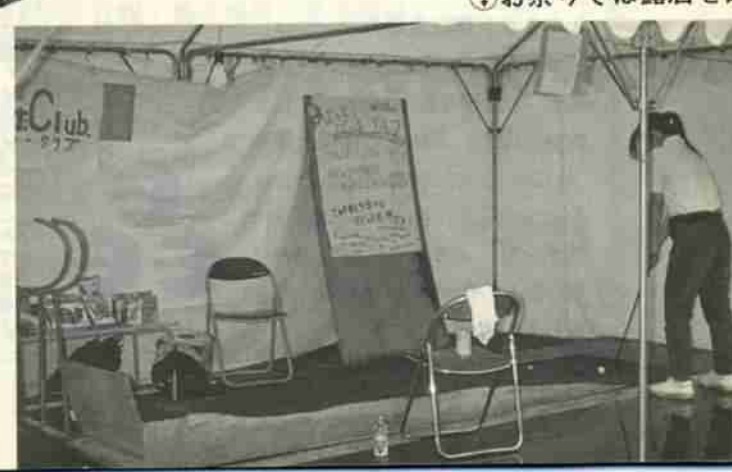
何事も始めの一步から

これまで多数のイベントや行事を通して感じたことは、私たちの周りに情報がはみ溢れています。自分の興味・関心のあること

に対してはキャッチすることが簡単でも、何かをしようと行動することは容易ではないということでした。多くの人は、いろいろな事に参加したい、よりよい街づくりに貢献したい、自分の心の豊かさを高めたいと思っっているのではないのでしょうか。しかし、日常生活に追われたり事情があつて実際に行動にうつせぬ、そのため他人からはあたかも無関心のように見えているのではないのでしょうか。

市民一人ひとりが小さなことでも初めの一步を踏み出す。それが全市的なまちづくりにつながる大切なことであると感じました。

③お祭りでは露店を出



こんなところ あんなところ

私の好きな場所

と刻まれた句碑があります。
また酸性土壌に強い植物が群生しており、ヤマウルシ・ホオノキ
ナナカマドなどのうっそうとした
木立の中を野鳥が飛び交います。



其の十四：舟見山遊歩道

登別温泉の地獄谷遊歩道につな
がるこの遊歩道は、全長約一・五
キロ、森林浴気分が味わえます。
途中には高浜虚子自選の作であ
る

「囀や絶えず二三羽こぼれとび」

市民登場

友達の輪

加納 虎男さん

(61歳) 登別東町在住



川柳を始めて今年で二十五年目
になりました。小学校の教師をし
ていて豊浦町の学校に転勤になっ
たとき、知人も少なくさびしい想
いをしていました。そんなとき、
ある新聞で時事川柳を見て、これ
なら自分の想いを人に伝えられる、
そう考えて始めたんです。一年間
程夢中で詠んでいましたが壁にぶ
つかったというか……。そんなとき
「口で縫う ほころび誰が

泣くものか」

という句に出合い感動したんです。
この句を詠んだのはハンセン病
の方なので、書くまでに時間がか
かっただろうし病気との闘いやさ
まざまな困難の末に自分の真実を
詠んだ句なんです。私もこうい
う川柳をつくってみたい、そう思
いました。

昭和四十五年に登別に來てから

し体不自由児の学級に勤めました。
子供たちの表情が明るいのびっ
くりしました。でも心の中にはい
ろいろな悩みがあったんです。
この子供達の書いた川柳は、自分
を飾らないので胸を打たれました。
今は、川柳に出会えて本当によ
かったなあと感じています。誰に
でもできる川柳ですから一人でも
多くの方に親しんでいただきたい
そう考えて登別川柳社を昭和四十
七年に創立し会員も八十人程にな
りました。毎月発行している川柳
誌も二百二十三号となり来年は二
十周年を迎えます。ここまでこれ
たのも良いスタッフに恵まれたこ
とと感謝しています。
(リポーター感 生涯川柳、そん
なふう感じました。丸山由紀)
今回は、緑町在住の垣内登紀子
さんです。お楽しみに!!

消費者コーナー

アルミ缶——リサイクルの
優等生

「リサイクル」この言葉を耳にす
るようになって久しくなりました。
アルミニウムは再生の面で優れ
た素材です。再生しても品質が変
わらず、何回でも再生利用が可能
です。

省エネ効果ばつぐん

省エネ効果を実際のデータでみ
てみると、平成元年度に販売され
たアルミ缶入り飲料は全国で約八
十億缶にのぼります。このうち四
十二・五億(約三十四億缶)が回
收され、再生されています。この
結果節約できたエネルギーは、東
京都と群馬県の合計約五百四十三
万世帯が一月で使う電力の量に
相当することです。

貴重な資源を有効に活用するた
めにもアルミ缶をリサイクルしま
しょう。

◎アルミ缶の見分け方

- ・磁石にくっつかない
- ・缶の表示を確認する(スチール
缶でもアルミ缶に似てやわから
いものがあるので注意)

◎リサイクルの方法

- ・飲んだら軽く水ですすぐ(フタ
は缶の中に入れる)
- ・足で踏んでつぶす
- ・袋に入れて保管

・消費者協会の回収に出す(☎85
8307 毎週火・木曜日に受
け付け)

野菜や果物など

ふるさと食品に認証マーク

農林水産省は、ふるさと認証食
品開発普及事業でふるさと食品に
認証マークを表示することとしま
した。(平成三年四月一日施行)

ふるさと食品に認証マークを表
示する販売は、新技術の開発やア
ンテナショップ(消費者ニーズを
探る実験店舗)による販売促進を
通して地域の活性化にもつながる
と期待されています。また、なに
よりも消費者が安心して、ふるさ
との味を求めることができるよう
になりました。

ふるさと認証食品のマークは、
①優れた品質(Excellent Qua
lity) ②正確な表示(Exact Ex
pression) ③地域の環境と調和
(Harmony with Ecology)
の三つのEを、「品」という漢字でデ
ザインし、ふるさと認証食品が「
良い品(イイシナ)」であることを
表しています。



ふるさと認証食品

平和を祈って

黙とうを

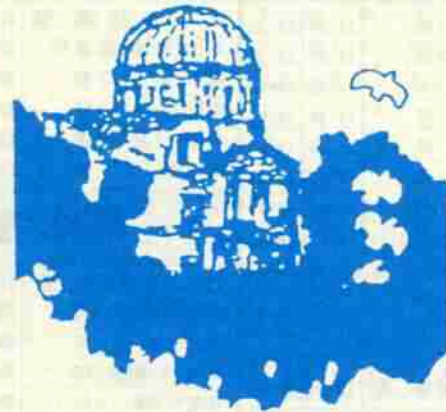
—原爆の日・終戦記念日

八月六日広島市、八月九日長崎市
 の原爆の日、また八月十五日の
 終戦記念日を迎えるにあたり、原
 爆死没者、戦争犠牲者を追悼し、
 世界恒久平和の確立を祈るため次
 のとおり一分間のサイレンを吹鳴
 します。

市民の皆様にもサイレンと同時に
 一分間の黙とうをささげられま
 すようお願いいたします。

▽日時

- 八月六日 広島市原爆の日…午
 前八時十五分から一分間
- 八月九日 長崎市原爆の日…午
 前十一時二分から一分間
- 八月十五日 全国戦没者追悼式
 …正午から一分間



保母の臨時職員募集

市は、保育所に勤務する保母の
 臨時職員を募集します。

▽資格 保母資格を有する満五十
 五歳未満の方

▽賃金 一日五千二百円（交通費
 実費支給）

※応募により臨時職員として登録
 し、その後、随時任用します。勤
 務時間、勤務場所については相談
 に応じます。（人数は問いません）

▽問い合わせ・申し込み 社会課
 （☎851911）

第5回 北海道クロスカントリーレース 参加者募集

北海道クロスカントリーレース実行委員会は、
 第5回目を迎えるクロスカントリーレースの参
 加者を募集します。

- ▷日時 9月8日(日)午前8時から午前9時ま
 で受け付け 午前10時からスタート
- ▷場所 札内台地
- ▷申し込み期限 8月23日(金)まで
- ▷参加料 一般…1,500円、高校生以下…500円
- ▷問い合わせ・申し込み先 北海道クロスカ
 ントリーレース実行委員会（〒059 登別市中央
 町5-6-1 登別青年会議所内☎851468）
 へ参加申し込み書及び誓約書に記入し、参加
 料を添えて申し込んでください。



市民見学会を行います

市は、発展を続ける登別市の姿を見学していただくこと
 を目的に今年も市民見学会を企画しました。

個人で参加する「ふるさと見学会」と団体で参加する「
 自由企画見学会」を行います。

- 〔ふるさと見学会〕
- ▷対象 市内に居住し個人で参加を希望する方
- ▷実施回数 2回
- ▷見学日・集合場所 9月10日(火)市役所前 9月11日(水)
 鷺別支所前（いずれも午前9時30分集合）
- ▷定員 各日30名
- ▷見学施設 新登別大橋、カルルス・サン・スポーツラン
 ド、地獄谷、郷土資料館、川上公園、登別伊達時代村、
 若山浄化センター、富岸土地区画整理事業区域、亀田記
 念公園、若草中央公園、清掃工場、終末処理場など
- ▷昼食 弁当を持参してください
- 〔自由企画見学会〕
- ▷対象 市内のサークル・団体など（20名以上30名以内）
- ▷実施回数 3回
- ▷見学日・集合場所・見学施設 見学日は3団体分を予定
 しています。日程・集合場所・見学施設などについては
 参加団体と協議し決定します
- ▷昼食 参加団体で用意してください
- ※申し込み受け付け
 「ふるさと見学会」「自由企画見学会」とも8月15日(木)午
 前10時から午後3時まで総務課（☎851130）で電話に
 より申し込みを受け付けます（先着順）。なお、雨天の場合
 も実施します。
- ▷参加料 「ふるさと見学会」「自由企画見学会」いずれも1
 人100円(傷害保険料)

富浦墓地行き 無料墓参バスを運行します

8月13日～8月16日

〈墓参バス運行時刻表〉

市は、お盆の時期に市内の3地区(美園・若草・幌別)から富浦墓地まで、貸切り無料墓参バスを運行します。
 停車場所・時間を確認のうえご利用ください。
 ▷問い合わせ 市保健衛生課 (☎1771)

美園・鶯別地区～富浦墓地				幌別・登別地区～富浦墓地								
トヨタ上鶯別寮 発	10:00	13:00	富浦墓地 発	11:30	14:30	登別高校バス停 発	10:00	13:00	富浦墓地 発	11:25	14:25	
松木商店	10:02	13:02	市役所入口バス停	11:36	14:36	幌別小学校バス停	10:00	13:00	登別小学校前バス停	11:27	14:27	
鶯別中学校前バス停	10:06	13:06	幌別本町前バス停	11:37	14:37	市民会館バス停	10:01	13:01	登別中学校前バス停	11:28	14:28	
鶯別小学校前バス停	10:07	13:07	あかしや団地バス停	11:42	14:42	ホームストア幌別店バス停	10:02	13:02	登別バス停	11:29	14:29	
東鶯別バス停	10:08	13:08	開発局前バス停	11:44	14:44	社宅十字街バス停	10:03	13:03	登別駅前バス停	11:30	14:30	
はまな十団地バス停	10:09	13:09	富岸バス停	11:45	14:45	中央町5丁目バス停	10:04	13:04	富浦バス停	11:35	14:35	
帝国酸素バス停	10:11	13:11	西富岸バス停	11:47	14:47	幌別小学校バス停	10:05	13:05	オズらん団地バス停	11:37	14:37	
西富岸バス停	10:13	13:13	帝国酸素バス停	11:49	14:49	東小学校バス停	10:08	13:08	幸町3丁目バス停	11:38	14:38	
富岸バス停	10:15	13:15	はまな十団地バス停	11:51	14:51	ソーダー工場前バス停	10:09	13:09	三洋工業前バス停	11:40	14:40	
開発局前バス停	10:16	13:16	東鶯別バス停	11:52	14:52	三洋工業前バス停	10:10	13:10	ソーダー工場前バス停	11:41	14:41	
あかしや団地バス停	10:18	13:18	鶯別小学校前バス停	11:53	14:53	幸町3丁目バス停	10:12	13:12	東小学校バス停	11:42	14:42	
幌別本町前バス停	10:23	13:23	鶯別中学校前バス停	11:54	14:54	オズらん団地バス停	10:13	13:13	幌別小学校バス停	11:45	14:45	
市役所入口バス停	10:24	13:24	松木商店	11:58	14:58	富浦バス停	10:15	13:15	中央町5丁目バス停	11:46	14:46	
富浦墓地 着	10:30	13:30	トヨタ上鶯別寮 着	12:00	15:00	登別駅前バス停	10:20	13:20	社宅十字街	11:47	14:47	
若草・幌別地区～富浦墓地				登別バス停				10:21	13:21	ホームストア幌別店バス停	11:48	14:48
上鶯別入口バス停 発	10:00	13:00	富浦墓地 発	11:35	14:35	登別中学校前バス停	10:22	13:22	市民会館バス停	11:49	14:49	
旭ヶ丘団地バス停	10:01	13:01	千歳4丁目バス停	11:45	14:45	登別小学校前バス停	10:23	13:23	幌別小学校バス停	11:50	14:50	
若草入口バス停	10:02	13:02	市民プールバス停	11:46	14:46	登別小学校前バス停	10:25	13:25	登別高校バス停 着	11:50	14:50	
若草中央バス停	10:03	13:03	電報電話局前バス停	11:49	14:49							
緑ヶ丘団地バス停	10:04	13:04	みゆき旅館前	11:50	14:50							
千代の台団地バス停	10:05	13:05	阪井商店前	11:53	14:53							
新生町1丁目バス停	10:06	13:06	登別大谷高校前バス停	11:55	14:55							
新生町2丁目バス停	10:07	13:07	緑町2丁目バス停	11:56	14:56							
富岸小学校バス停	10:08	13:08	桜木団地バス停	11:57	14:57							
通南バス若山営業所バス停	10:09	13:09	総合体育館前バス停	12:00	15:00							
総合体育館前バス停 着	10:10	13:10	通南バス若山営業所バス停 着	12:01	15:01							

人権問題でお困りの方は人権擁護委員へ

人権擁護委員は、家庭内のもめごと、近隣とのトラブルをはじめとするあらゆる人権問題、不動産等の登記、婚姻・離婚・入籍など戸籍に関する問題などの相談に応じています。(相談は無料で秘密は固く守られます。)

現在、市内には五人の人権擁護委員が法務大臣により委嘱されていますが、このほど委員を十五年九か月勤められた幸塚幸吾さん(常盤町)が退任され、後任に木村時子さん(中央町)が平成三年六月十五日付で委嘱されました。

- また、同日付で星喬さん、鹿内正敏さんがそれぞれ再任されました。
- ▽人権擁護委員
- 星 喬：新生町五丁目二十十一番(☎8286)
 - 多田弘：富土町六丁目二十七番四(☎82837)
 - 木村時子：中央町一丁目十六番一(☎80511)
 - 吉田勝彦：登別東町四丁目七番一(☎81128)
 - 鹿内正敏：登別温泉町十一丁目三番(☎842314)

“セーフティライダーフェスティバルイン登別” 参加者募集

市と登別市交通安全協会は、二輪者の正しい乗り方を身につけてもらうため“セーフティライダーイン登別”を行います。当日は、道警白バイ隊による実技指導を行いますので二輪車愛好者の皆さんの参加をお待ちしています。

▽日時 八月十一日(日)午後一時から午後四時まで(小雨決行)

▽集合場所 登別自動車学校

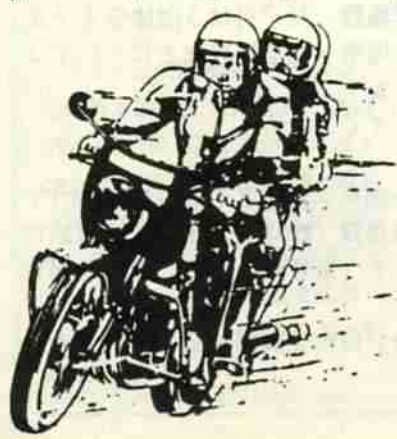
▽参加資格 二百五十cc以上の二輪車愛好者(初心者歓迎)

▽募集人員 五十名(定員になり次第締め切り)

▽参加料 無料

▽内容 模範演技、実技指導、街頭パレード、街頭啓発

▽申し込み・問い合わせ 市民課(☎1855)で八月五日から受け付けます。



あなたも何か 始めてみませんか



サークル会員募集

生涯学習 コーナー

驚別公民館				申し込み 驚別公民館 問い合わせ ☎86-8823			
サークル名	活動日	時 間	会 費	家 庭 料 理(レモン)	月1回(月)	午前10~12	月1,000円
俳句会(驚別句会)	月1回(水)	午後1~4	年2,000円	家 庭 料 理(かえで)	月2回(木)	午前10~12	月1,300円
女性コーラス(しおさい)	月4回(水)	午後6:30~9	月1,500円	食文化かまど(自然食グループ)	月1回(水)	午前10~12	月200円
女性コーラス(ポニークラック)	月4回(金)	午前10~12	月1,500円	手 あ み	月2回(月)	午前10~12	月1,000円
木 影	月3回(木)	午前9~12	月2,200円	沖 ヨ ガ	月4回(金)	午前10~11:30	月2,500円
詩 吟	月4回(金)	午後7~9	月1,800円	お 菓 子 づ くり	月1回(水)	午前9~午後1	月600円
民謡(くるみ会)初心者歓迎	月4回(金)	午後6~9	月500円	能・仕 舞 (せみすし本で謡にあわせて楽しく舞う)	月4回(月)	午前10~12	月1,500円
民謡(ハマナス会)青少年・初心者歓迎	月4回随時	午後6~9	月1,000円	女性コーラス(対象50歳以上)	月3回(木)	午後7~9	月1,000円
魚拓(釣り上げた魚を魚拓)	月2回(木)	午後6~9	年5,000円	登別子ども劇場(演劇、人形劇鑑賞)	随 時	—	4歳~ 月(1人)800円
俳句会(若草句会)	月2回(木・水)	午後1~4・6~9	年1,500円	女性コーラス(M・F・C) 子育てサークル(たんぽぽのように) (小学校入学前の子を持つ親子)	月4回(木)	午後7~9	月2,000円
水 墨 画	月2回(日)	午前10~12	月150円	婦人センター 申し込み 市教育委員会社会教育課 問い合わせ ☎88-1100			
水 彩 画	月3回(水)	午後1~4	月200円				
社 交 ダ ン ス	月4回(土)	午後6~9	月500円	サークル名	活動日	時 間	会 費
着 付(礼儀作法を含む)	月4回(金)	午前10~12	月2,500円	ジャズダンス	月4回(金)	午前10~12	月3,000円
レクダンス	月4回随時	午後1~3	3ヶ月で1,000円	ヨ ガ	月4回(木)	午前10~11:30	月3,500円
和 裁	月4回(木)	午前10~午後3	月1,500円	フォークダンス	月4回(土)	午前10~12	月1,000円
トップ・ジャズダンス	月4回(金)	午後6:30~9:00	月3,000円	民 謡	月4回(木)	午後3~7	月1,000円
市民会館 申し込み 市教育委員会社会教育課 問い合わせ ☎88-1100				女性コーラス(ワイメールコール)	月4回(木)	午後7~8:50	月1,000円
				アートのフラワー	月1回(木)	午前10~午後2	月2,000円
サークル名	活動日	時 間	会 費	家 庭 料 理	月2回(木)	午前10~12	月1,200円
ペン習字	月4回(土)	午前10~12	月700円	書 道	月4回(木)	午後6~9	月2,900円
和 裁	月4回(木)	午前9~午後3	月1,000円	社 交 ダ ン ス	月4回(土)	午後6:30~8:30	月500円
絵 画(油絵・水彩画)	月2回(月)	午後1~3	月500円	大 正 琴	月4回(土)	午前9:30~12	月1,000円

いきいき人とまち推進事業 小樽(文化・歴史)探訪会 参加中学生募集

いきいき人とまち推進会議の「ハンドインハンド部会」は、国際交流をテーマに青少年の海外派遣、交流を目標とした活動に取り組んでいますが、そのためには自然の住んでいるまちや北海道のことをもっと理解する必要があると考え、北海道の歴史・文化の発祥地である「小樽」の探訪会を行います。

昨年から中学生の英語の指導を行っているピーター先生とのふれあいを交えながらの探訪会です。市内の中学生の皆さんの参加をお待ちしています。

▼実施日 九月一日(日)

▼集合場所・時間 驚別公民館：午前七時四十五分、西富岸バス停：午前七時五十分、市役所：午前八時、登別プラザさいとう

前バス停：午前八時十五分(無料バス運行)

※帰りは午後四時に小樽を出発する予定です。

▼主な訪問先 旧青山別邸、旧日本郵船、博物館、小樽運河ほか

▼参加料 五百円(保険料、昼食代を含む)：当日持参のこと

▼募集人員 中学生男女四十名

▼申し込み方法・締め切り 往復はがき(別図参照)で八月十五日(木)必着(申し込み多数の場合は抽選します)

▼申し込み・問い合わせ 市企画調整室(〒059 登別市中央町六一十一 ☎851122)

※結果は八月二十日頃までに通知します。

ハガキ(往信 裏)

9月1日の
「ピーター先生との
小樽文化探訪」を
申し込みます。

〇〇〇中学校〇年〇組

住 所

氏 名

(バス乗車希望場所)

申し込みの宛先
「登別市中央町6-11
登別市役所 総務部 企画調整室」
※返信ハガキの表に申込者の住所、氏名
をかならず記入願います。

登別温泉街からロープウェイで結ばれたボロスブリ(大きい山)は、四圍の眺望が雄大なので大正期に「四方嶺」と命名されるようになった。

この頂上に約百八十頭の大量のヒグマが自由に放し飼いされている。壮観さは、わが国第一で他にはみられない。

また同所の「ヒグマ博物館」もわが国唯一のヒグマ専門の博物館で機関誌「ヒグマ」を発行、大学・野生動物・動物研究者の

学術的ヒグマ研究の場として広く知られ国際的な活動をされている方々も多く、登別に住む加納菜穂子さんもそのお一人である。

北海道に生息する「クマ」は、ヒグマの地方種「エゾヒグマ」で南千島にかけて生息し、日本の食肉獣の中では最強の動物。本州のニホンツキノワグマはアジアクログマ種で、ヒグマに比べて体形は二回りも小さい。登別地方にもヒグマはかなり棲んでいたので話題も多い。

安政四年(一八五七)箱館奉行堀利熙に随行した玉虫左太夫の記録「入北記」に、幌別場所から生産される「出産物買入れ値段」をみるとサケ・コンブ・イリコ(干しナマコ)などの他に熊皮一枚四百八十文から九百文(五千四百円

から一万二千五百円)、熊の胆一匁(三・七五匁)百二十文から八十文(千三百五十円から九百円)の値段でカワウソウ・エゾタヌキ・エゾイタチ・キツネの毛皮などもあるが、ヒグマが登別地方に生息し捕獲され商品として取り引きされていることがよくわかる。

同じ巡視に従った佐賀藩士の島義勇が、白老から登別温泉に来た時は夜間で雨になり、猛獣に襲われる危険があるとアイロ(虎杖浜)から二万五千二百五十円、熊の胆一匁(三・七五匁)百二十文から八十文(千三百五十円から九百円)の値段でカワウソウ・エゾタヌキ・エゾイタチ・キツネの毛皮などもあるが、ヒグマが登別地方に生息し捕獲され商品として取り引きされていることがよくわかる。

郷土史点描

登別の開拓と動物たち

動物たち

「ヒグマとのかかわり」



登別郷土文化研究会 宮武紳一

を設けて前記の動物を銃殺して防衛しようとし、同九年は毒物散布で禽獣の駆除をはかり、同十年(一八七七)ヒグマ・オオカミを猟殺し申し出ると一頭二円の賞金を出し、翌十一年にはヒグマ一頭五円、オオカミは七円に増額した。

の番屋で言われ、一人の案内人の他にアイヌの案内人二人を雇ったが、予想どおり路傍でクマの吠える声を聞き、恐怖におののきながら登別温泉に到着している。ヒグマの習性を熟知したアイヌの案内と、多人数の大きな話し声、松明のあかりが効を奏したらしい。

市)でも此の業務を取り扱い、例えば明治十六年一月から六月までの半年間にヒグマ八頭を獲殺した届出があったので一頭につき三円の賞金を支出しているが、規定より二円安いのは開拓使から札幌県に移管した行政上の問題らしい。

当時、登別をおおっていた原始林の中にはヒグマが横行し、シカが群れ、キツネ・テン・カワウソウ・エゾタヌキが出没し、リス・ムサ

サビ・シマネズミが樹から樹へと走り歩き、タカ・ワシが巣をつくり、鷲・トシケシ源にツルが舞い、沼・川辺に白鳥が群がっていた。野生動物の宝庫であったのである。ところが人間が大量に移住し開拓の名のもとに森林を伐り開きはじめる。ヒグマ・オオカミ・ヤマ

MMR 予防接種を希望される方は 印鑑が 必要です

MMR 予防接種を希望される方は、送付されている受診券と印鑑を持参のうえ、医療機関に備え付けてある問診票に必要事項を記入し接種してください。

受診券は、お子さんが1歳になりだいたい送付していますが、届いていない方は保健衛生課(☎851771)へご連絡ください。

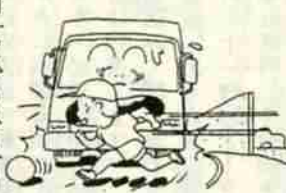
優良運転者を表彰します

登別市交通安全協会は、平成三年度優良運転者を表彰します。無事故を願い、安全運転に努めたあかしとして申し込みされますようお願いします。

- ▽申し込み資格 五年間無事故無違反で室蘭地区交通安全協会協力会員となっている方(表彰申請時に加入料千円を添えて加入しても構いません)

夏の交通安全運動

八月一日～八月十日



八月一日から八月十日までの期間「夏の交通安全運動」が行われます。市民の皆さんのご協力をお願いします。

- ◎運動の重点目標
 - ▽スピードの出し過ぎなど無謀運転の防止
 - ▽二輪車の交通事故防止
 - ▽歩行者と自転車利用者(特に子供、お年寄り)の交通事故防止
 - ▽シートベルト、ヘルメットの着用の徹底
 - ▽違法駐車車の締め出し